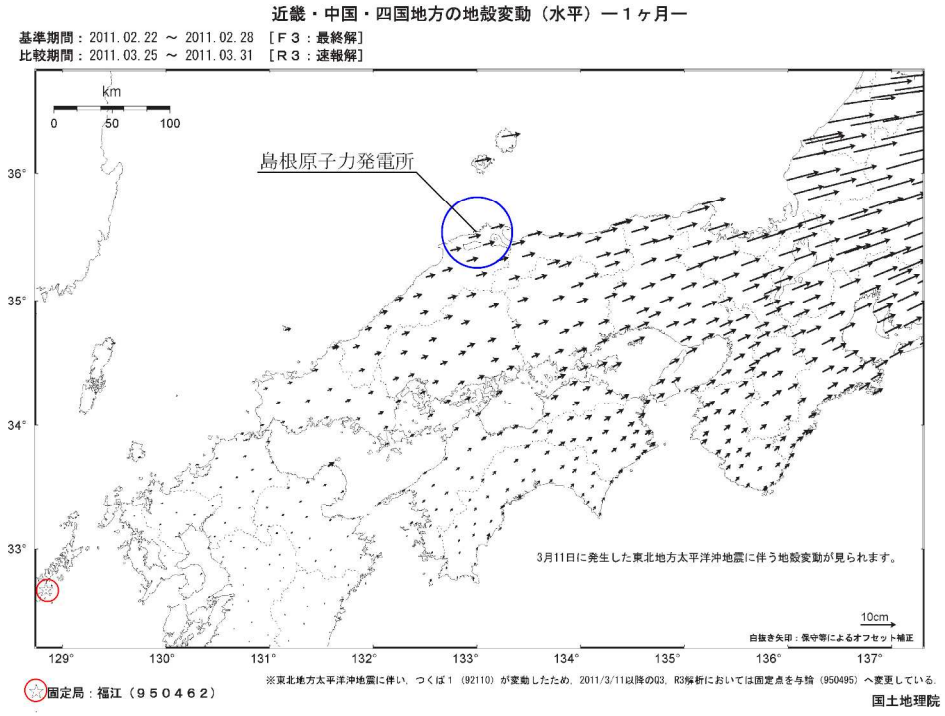
（添付資料）

島根原子力発電所における
地殻変動量および地震発生状況の調査に関する報告概要

１．地殻変動量

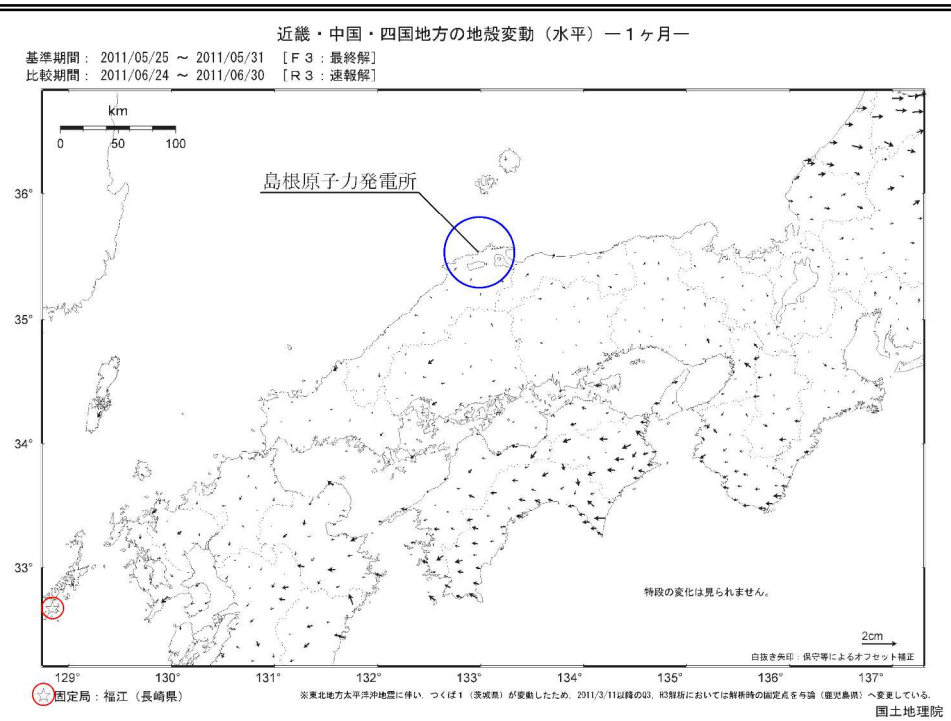
国土地理院発表のＧＰＳ観測結果を基に，東北地方太平洋沖地震前後の地殻変動量およびその向きの変化について確認したところ，島根原子力発電所周辺において，３月１１日以降に発生した地震に伴う地殻変動は小さく，５月下旬以降には特段の変化は認められない。（図１，図２）



島根原子力発電所を中心とする半径 30km 範囲

「国土地理院　平成 23 年３月の地殻変動について（http://www.gsi.go.jp/common/000060167.pdf）」に加筆

図１　平成 23 年３月の地殻変動（２月下旬～３月下旬の１ヶ月間）



島根原子力発電所を中心とする半径 30km 範囲

「国土地理院　平成 23 年６月の地殻変動について（http://www.gsi.go.jp/common/000061767.pdf）」に加筆

図２　平成 23 年６月の地殻変動（５月下旬～６月下旬の１ヶ月間）

２．地震発生状況

気象庁一元化震源データを用いて，東北地方太平洋沖地震前後の地震の分布等を確認したところ，島根原子力発電所周辺において，３月１１日前後で地震活動の顕著な変化は認められない。（図３）

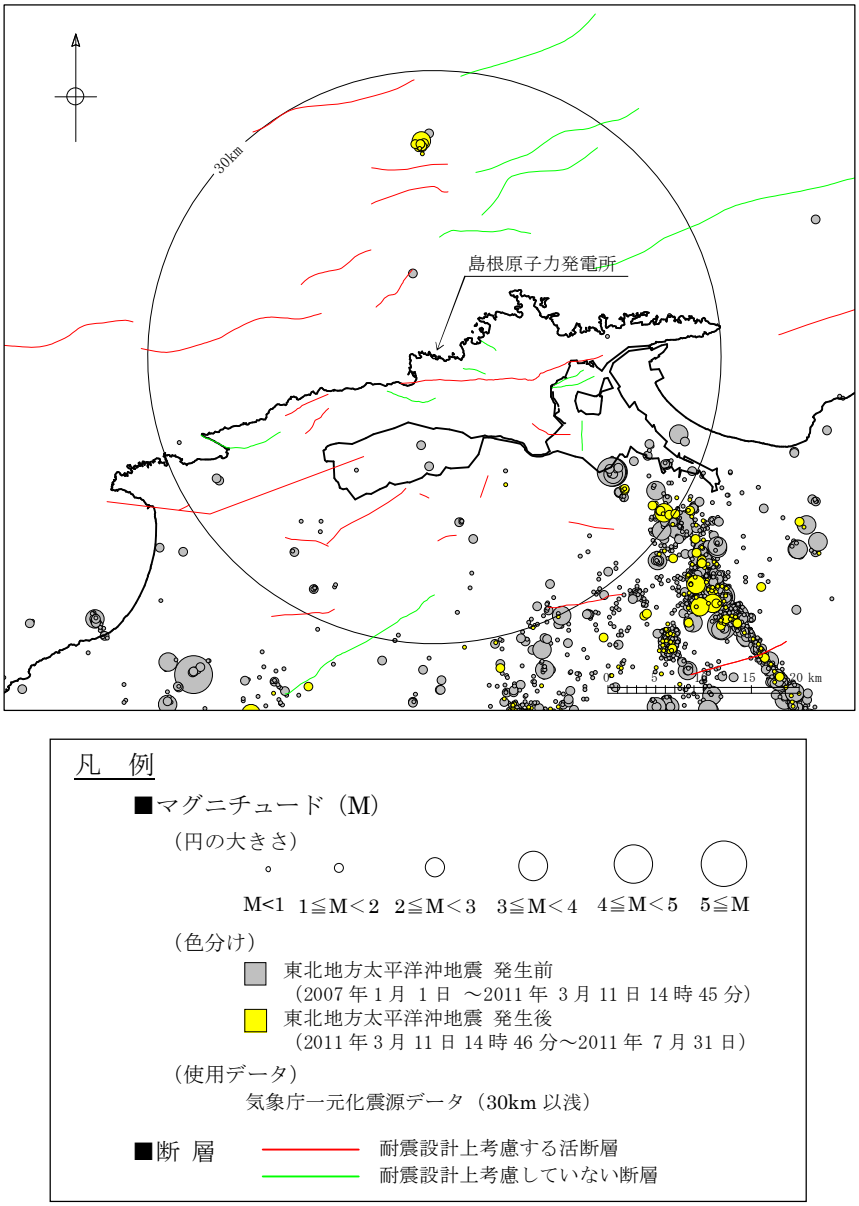


図３　島根原子力発電所周辺の地震分布（2007 年 1 月 1 日～2011 年 7 月 31 日）

３．評価結果

島根原子力発電所周辺においては，平成２３年３月１１日以降に発生した地震に伴う地殻変動の影響は小さく，地震発生状況にも顕著な変化は認められないことから，新たに耐震設計上考慮する必要がある断層はないと評価した。

以上